

経営理念 人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校

| 中期経営目標                                     | 短期経営目標   | 目標達成のための方策   | 評価指標                             | 自己評価 |     |      |     | 分析コメント(学校関係者評価委員会、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)                                       | 改善策(来年度の目標設定、具体的な取組目標)   |  |
|--|--|--|----------------------------------|------|-----|------|-----|---|--|--|
|  |  |  |                                  | 7月   | 12月 | 最終評価 |     |   |  |  |
|  |  |  |                                  | 目標値  |     | 達成度  | 評価  |   |  |  |
| 心の教育                                       | 【全教育活動】<br>◆明るい挨拶や会釈のできる子供を育てる。<br>◆話を一度で聞き取る子供を育てる。<br>【徳育科】<br>◆指導目標、指導内容、年間計画を定める。<br>◆指導資料を作成する。<br>◆評価方法の確立に取り組む。   | ◇「挨拶の励行」を推進する。   | 児童の行動について内部評価の割合                 | 80   |     | 93   | A   | 「よくできる」「だいたいできる」を合わせた肯定的評価 ◆児童の自己評価…約90% ◆保護者…約67% ◆教員…約74%。返事としての挨拶や、担任の挨拶に続いた挨拶はある。 | 自らすずんで挨拶をするという点で、十分とは言えない。<br>◆目標値…80<br>◆取組目標…自ら先に、時と場に相応しい挨拶をするこ                                   |  |
|  |  | ◇「教室の中で話しているのは一人」を推進する。  | 児童の行動について内部評価の割合                 | 80   |     | 113  | A   | 全校朝会、児童集会の場での私語がほとんどない。学校公開後の保護者アンケートに、児童の授業の受け方について、多数の肯定的評価を得ている。                   | 学年や全校で集まる場において「話している人は一人」となっていない。<br>◆目標値…80<br>◆取組目標…人が立つ前に、静まること。                                  |  |
|  |  | ◇徳育科の「内容項目 礼儀・公德心」の学習において、指導法や教材の工夫を行った学習活動を展開する。              | 児童による自己評価の割合                     | 80   |     | 119  | A   | 学習内容に対し、実生活の場で実践しようとする記述が多い。  | 「徳育科」の本校としての研究を継続する。<br>◆目標値…90<br>◆取組目標…「指導」と「支援」と「評価」の一体化を、一層図ること。                                 |  |
| 特色を生かした学力の向上                               | 【午前5時間制】<br>◆「八小授業スタンダード」に基づく学習スタイルを推進する。<br>→思考力・判断力・表現力の向上<br>→知識・技能の確実な定着<br><br>【コミュニティスクール】<br>◆保護者・教育支援ボランティア(地域)を積極的に活用し、共同的活動を推進する。<br>→思考力・判断力・表現力の向上<br>→知識・技能の確実な定着<br><br>※「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」の中に基礎学力は含まれる。 | ◇授業改善推進プランに基づく授業改善を行う。   | 児童による自己評価の割合                     | 80   |     | 88   | A   | 児童が自己評価する際の指標が、テスト等の数値によるところが大きい。   | ◆目標値…80<br>◆取組目標…学び方を加味した授業改善推進プランを改善すること。   |  |
|  |  | ◇第3～6学年<br>算数科の授業は、年間を通して習熟度別指導を行う。(3学級4展開、4学級6展開)             | 学力についての調査結果                      | 80   | 70  | 70   | 94  | A   | 算数科の授業は、年間を通して習熟度別指導を実施。計画に対して、実施率が下回った。   | ◆目標値…80<br>◆取組目標…実施時数に無理のないよう適正に計画し、確実に実施を行うこと。                    |
|  |  | ◇全学年<br>15分間の「習熟タイム」を週3回実施する。(「東京ベーシック・ドリル」「漢字ステップアップシート」等の活用) | 「伸びゆく子」の評価<br>第5学年都調査と類似問題の結果の比較 | 80   | 68  | 76   | 90  | A   | 都調査結果と類似問題結果との3観点の正答率の比較<br>数学的な考え方…63→74%(11ポイント↑)、技能…65→73%(8ポイント↑)、知識・理解…68→76%(4ポイント↑)           | 継続する意欲や苦手な学習の学び方といった目的を明確にした取組を推進する。                               |
|  |  | ◇第3～6学年<br>教育支援ボランティアを講師とした「ふれっチャ・クラブ」を年20回実施する。(第3学年は全員所属)    | 実施の割合                            | 80   | 100 | 100  | 125 | A   | 「ふれっチャ・クラブ」は年間20回実施。   | 「ふれっチャ」の種類を増やすことと、講師を確保すること。<br>◆目標値…90<br>◆取組目標…8種→9種(来年度)に増やすこと。 |
|  |  | ◇第1学年<br>「繰り上がり」「繰り下がり」の徹底を図る。(基礎学力の定着)                        | 「伸びゆく子」の評価                       | 80   | 86  | 86   | 108 | A   | 算数科において、3学期の ◆「技能」の「十分満足」「概ね満足」の占める率…約86% ◆「知識・理解」の「十分満足」「概ね満足」の占める率…約86%。                           | ◆目標値…80<br>◆取組目標…努力を要する児童に対して、適切に支援すること。                           |
|  |  | ◇第2学年<br>「かけ算九九」(基礎学力の定着)…11月、3学期末<br>「詩の暗誦」(基礎学力の定着)          | 「伸びゆく子」の評価                       | 80   | 84  | 84   | 105 | A   | 算数科において、3学期の ◆「技能」の「十分満足」「概ね満足」の占める率…約87% ◆「知識・理解」の「十分満足」「概ね満足」の占める率…約82%。                           | ◆目標値…90<br>◆取組目標…努力を要する児童に対して、適切に支援すること。                           |
|  |  | ◇第4～6学年<br>「八小なるほど塾」(基礎学力の定着)…6月より実施                           | 「伸びゆく子」の評価                       | 80   | 83  | 83   | 104 | A   | 算数科 3学期 第4、5、6学年の順 ◆「技能」の「十分満足」「概ね満足」の占める率…約85%、約80%、約78% ◆「知識・理解」の「十分満足」「概ね満足」の占める率…約84%、約87%、約83%。 | ◆目標値…90<br>◆取組目標…努力を要する児童に対して、適切に支援すること。                           |
|  |  | ◇全学年<br>家庭学習の意味を保護者と共通理解し、「学年×10分間」の家庭学習を行う。                   | 児童による自己評価の割合                     | 80   | 80  | 80   | 100 | A   | 保護者から、学級間、学年間の違いについて、「宿題」についての問い合わせがあった。実施時間については、個人差が大きい。   | ◆目標値…80<br>◆取組目標…家庭学習の意義、内容、時間について、共通理解を図ること。                      |
|  |  | ◇第5・6学年<br>「八小土曜算数塾」(思考力・判断力・表現力の育成)…年間8回                      | 算数検定の合格率                         | 80   | 67  | 67   | 84  | A   | 算数検定と同程度のテストで合格率が67%。  | ◆目標値…80<br>◆取組目標…対象学年の参加を広く呼び掛けること。                                |
|  |  | ◇PTA活動や地域行事へ積極的に参加する。(年間6回程度)                                  | 自己の行動についての内部評価の割合                | 80   | 80  | 80   | 100 | A   | 概ね達成している。  | ◆目標値…80<br>◆取組目標…当事者意識をもった参加が定着すること。                               |
| ◆地域・家庭との連携を深め、児童の健全育成、安全対策の推進を図る。          | ◇保護者参加型の避難訓練(引き取り訓練)を行う。(年1回)<br>※努力指数…予告の上の期待値。<br>※成果指数…予告の上の実態と捉える。   | 実施結果   | 80                               | 100  | 100 | 125  | A   | 避難訓練(引き取り訓練)は、年1回を、5月12日に実施。年間の早期の実施が実現した。  | ◆目標値…90<br>◆取組目標…より現実的な訓練を実施するために、検討を重ねていくこと。  |  |
| の指 教師の専門性を生<br>導 かし、一人一人の指<br>上 導 力向上に努める。 | ◆「一人一研究」を推進する。   | ◇全教員が「一人一研究」に基づいた研究授業もしくは授業公開を年1回以上行う。                         | 自己の行動についての内部評価の割合                | 80   | 100 | 100  | 125 | A   | 全教員が最低年3回の研究授業を実施。<br>・「一人一研究」に基づいた研究授業…1～2学期に2回<br>・德育科研究授業…3学期に1回                                  | ◆目標値…90<br>◆取組目標…問題解決型の指導法を研修すること。                                 |

【達成度】 = [達成値] / [目標値]

【評価】 A : 8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定

B : 8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施

C : 5割未満→目標の見直し